

明治大学グローバルCOEプログラム  
【現象数学の形成と発展】

## 第2回現象数理談話会

# GCOE Colloquium

2009年7月27日(月) 15:00 - 16:30  
明治大学駿河台校舎 紫紺館3階会議室

## 数学の頭で 医学データを考える

15:00 - 16:30

柳川 堯 YANAGAWA Takashi (久留米大学)



医学データは、疾患や死亡に関する患者の肉体的・精神的苦痛の上で取られている。それゆえに、バイオ統計学の使命は「患者の治療に生かす」の旗印の下で「データがもつ情報を最大に抽出し解析する」ことである。また、これがバイオ統計家に課された基本的な倫理である。医学データには、様々なデータがあるが、本講演では患者の個体差(背景因子、予後因子)を考慮する必要がない場合とそうでない場合の二つの典型例を取り上げ「有効な情報を最大限に取り出すためのモデル化、考え方及びその数理」について述べる。前者の例として、摂食障害児と健常児の脳血脈流を、負荷を与えて、光トポグラフで測定し脳のどの部位に有意な差が現れるかを解析する事例をとりあげる。また、後者の例としては、自宅介護を受けている男女の介護保険データを対象として、病態の悪化と改善に及ぼす年齢、性、家庭環境、および既往疾患の影響評価の事例をとりあげる。数学的には、いずれの場合も時系列データ解析の範疇に属するが、従来の解析方法とは全く異なる切り口による解析法を紹介したい。

参加自由です。皆様のお越しをお待ちしております。

明治大学駿河台校舎へのアクセス：

東京都千代田区神田駿河台1-1 最寄り駅 JR「御茶ノ水駅」より徒歩3分  
詳しくは、[http://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/](http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/) をご覧下さい。

明治大学グローバルCOEプログラム

「現象数学の形成と発展」 拠点リーダー：三村昌泰

問い合わせ先：明治大学教学企画部グローバルCOE推進事務室

Email : [gcoe@mics.meiji.ac.jp](mailto:gcoe@mics.meiji.ac.jp)